

## Ⅶ 教育委員会の活動の点検及び評価

### 1 教育委員会活動実績

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| 4月1日（月）   | 教職員着任式                  |
| 4月10日（水）  | 4月愛日地方教育事務協議会           |
| 4月26日（金）  | 4月定例教育委員会               |
| 5月10日（金）  | 愛知県町村教育長協議会定期総会・研修会     |
| 5月15日（水）  | 5月愛日地方教育事務協議会           |
| 5月24日（金）  | 5月定例教育委員会               |
| 6月24日（月）  | 6月定例教育委員会               |
| 7月3日（水）   | 愛知県市町村教育委員会連合会第58回定期総会  |
| 7月6日（木）   | 7月愛日地方教育事務協議会           |
| 7月22日（月）  | 7月定例教育委員会               |
| 8月23日（金）  | 8月定例教育委員会               |
| 9月30日（月）  | 9月定例教育委員会               |
| 10月17日（火） | 10月愛日地方教育事務協議会          |
| 10月25日（金） | 愛知県町村教育長協議会研修会          |
| 10月28日（月） | 10月定例教育委員会              |
| 10月30日（水） | 尾張部都市教育長・尾張部町村教育長会議合同会議 |
| 11月25日（月） | 11月定例教育委員会              |
| 12月24日（火） | 12月定例教育委員会              |
| 1月9日（木）   | 1月愛日地方教育事務協議会           |
| 1月27日（月）  | 1月定例教育委員会               |
| 2月21日（金）  | 2月定例教育委員会               |
| 3月6日（木）   | 3月愛日地方教育事務協議会           |
| 3月28日（金）  | 3月定例教育委員会               |
| 3月29日（金）  | 教職員退職辞令伝達式              |

## 2 教育委員会会議（議案、専承）について

### (1) 4月定例会（令和6年4月26日）

|       |   |
|-------|---|
| 議案    | (1) 東郷町中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱の一部改正について   |
| 専承    | (1) 東郷町少人数学級編成の実施に係る任期付町費負担教員の任用等に関する規則の一部改正について<br>(2) 東郷町社会教育事業費及び社会教育関係団体運営費補助金交付要綱の一部改正について<br>(3) 東郷町学校運営協議会委員の委嘱について<br>(4) 東郷町社会教育委員の委嘱について<br>(5) 東郷町給食センター給食用物資選定委員会委員の委嘱について            |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について   |
| 報告事項  | (1) 東郷町立図書館の利用状況について<br>(2) 4月校長会について<br>(3) 令和6年度校長会組織について<br>(4) 令和6年4月5日現在児童生徒数及び学級数について<br>(5) 令和5年度中学校卒業生進路先状況について<br>(6) 令和6年度私立・国立中学校入学者について<br>(7) 後援名義の使用許可について<br>(8) 令和6年度学校給食献立計画について |

注) 専承とは、緊急に処理する必要がある、かつ、委員会の会議を招集する暇がないときにおいて教育長が専決処理し、次の委員会において承認を求めたもの。

### (2) 5月定例会（令和6年5月24日）

|       |  |
|-------|--|
| 議案    | (1) 後援名義の使用許可について<br>(2) 東郷町いじめの「重大事態」に係る対応マニュアルの一部改正について<br>(3) 令和5年度東郷町学校評議員の委嘱について<br>(4) 東郷町立小中学校における食物アレルギー対応検討委員の委嘱について<br>(5) 東郷町給食センター運営委員会委員の委嘱について |
| 専承    | (1) 東郷町中学校部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について<br>(2) 東郷町図書館協議会委員の委嘱について  |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について  |
| 報告事項  | (1) 5月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 令和5年度東郷町スポーツ協会各部事業報告について<br>(4) 令和6年度東郷町スポーツ協会後援名義申請について   |

(3) 6月定例会（令和6年6月24日）

|       |  |
|-------|--|
| 議案    | (1) 令和6年度一般会計補正予算（第2号）に対する意見について<br>(2) 令和6年度一般会計補正予算（第3号）に対する意見について |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について  |
| 報告事項  | (1) 6月校長会について<br>(2) 後援名義の使用申請について<br>(2) 要保護・準要保護児童生徒数について          |

(4) 7月定例会（令和6年7月22日）

|       |  |
|-------|--|
| 議案    | (1) 令和7年度使用小中学校教科用図書採択について<br>(2) 令和6年度及び令和7年度給食用物資納入業者について<br>(3) 東郷町教育委員会評価委員の委嘱について |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について  |
| 報告事項  | (1) 7月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について                            |

(5) 8月定例会（令和6年8月23日）

|       |  |
|-------|--|
| 議案    | (1) 令和6年度及び令和7年度給食用物資納入業者の承認について   |
| 教育長報告 | (1) 9月議会一般質問について   |
| 報告事項  | (1) 夏季休業中について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について<br>(4) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和5年度）の提出について |

(6) 9月定例会（令和6年9月30日）

|       |  |
|-------|--|
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について  |
| 報告事項  | (1) 9月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について<br>(4) 東郷町スポーツ協会後援名義申請について |

(7) 10月定例会（令和6年10月28日）

|       |   |
|-------|---|
| 議案    | (1) 令和7年度教職員定期人事異動方針の策定について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 後援名義の使用許可について |
| 専承    | (1) 東郷町学校運営協議会委員の委嘱について   |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について   |
| 報告事項  | (1) 10月校長会について<br>(2) 要保護・準要保護児童生徒数について                               |

(8) 11月定例会（令和6年11月25日）

|       |  |
|-------|--|
| 議案    | (1) 東郷町少人数学級編成の実施に係る任期付町費負担教員の任用等に関する条例の一部改正について<br>(2) 東郷町教育委員会の教育職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について<br>(3) 東郷町教育委員会の教育職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する規則の制定について<br>(4) 令和6年度一般会計補正予算（第5号）に対する意見について<br>(5) 令和6年度一般会計補正予算（第6号）に対する意見について |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について  |
| 報告事項  | (1) 11月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について   |
| 協議事項  | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和5年度）に対する評価委員の意見に係る今後の対応について  |

(9) 12月定例会（令和6年12月24日）

|       |  |
|-------|--|
| 議案    | (1) 後援名義の使用許可について  |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について  |
| 報告事項  | (1) 12月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について |

(10) 1月定例会（令和7年1月27日）

|       |   |
|-------|---|
| 議案    | (1) 東郷町心の教室相談員設置要綱の一部改正について                                 |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について   |
| 報告事項  | (1) 1月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について |

(11) 2月定例会（令和7年2月21日）

|    |   |
|----|---|
| 議案 | (1) 東郷町立小中学校の休業日の指定について<br>(2) 令和6年度一般会計補正予算（第8号・第9号）に対する意見について<br>(3) 令和7年度一般会計当初予算について<br>(4) 学校歯科医の委嘱について<br>(5) 東郷町就学援助費事務取扱要綱の一部改正について<br>(6) 東郷町外国語指導助手任用規則の一部改正について<br>(7) 令和7年度東郷町立小中学校教職員定期人事異動の内申について<br>(8) 東郷町いじめの「重大事態」に係る対応マニュアルの改定について |
| 専承 | (1) 東郷町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について  |

|       |   |
|-------|---|
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について   |
| 報告事項  | (1) 2月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について |

(12) 3月定例会（令和7年3月28日）

|       |  |
|-------|--|
| 議案    | (1) 後援名義の使用許可について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 令和7年度東郷町教育の一般方針について<br>(4) 東郷町教育委員会事務局組織規則の一部改正について<br>(5) 東郷町地域学校協働本部設置要綱の制定について<br>(6) 東郷町地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について<br>(7) ハートフル東郷開設要綱の一部改正について<br>(8) 東郷町教育委員会の教育職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する規則の一部改正について<br>(9) 東郷町少人数学級編成の実施に係る任期付町費負担教員の任用等に関する規則の一部改正について<br>(10) 東郷町体力づくり推進委員の委嘱について<br>(11) 東郷町スポーツ推進委員の委嘱について |
| 教育長報告 | (1) 校長への指導事項等について  |
| 報告事項  | (1) 3月校長会について<br>(2) 後援名義の使用許可について<br>(3) 要保護・準要保護児童生徒数について  |

### 3 訪問・視察

#### (1) 学校訪問

町内の小中学校9校を2グループに分け、隔年で各学校を訪問し、それぞれの学校の取り組みについて直接知る機会を持っています。

令和6年度は、次の5校を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等さまざまな視点で、その学校の良さや抱えている課題などを把握することに努めました。

ア ねらい

- ① 学校教育における指導の重点並びに学校経営の視点の徹底を図る。

◆令和6年度 あいちの教育ビジョン2025 基本理念  
「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と「知・徳・体」にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めます。

- ② 小・中学校教育計画の実施状況を把握し、問題点について指導助言をする。  
③ 学校教育指導上の問題点、児童生徒の指導の実際について指導助言をする。

- ④ 学校における現職教育（初任者研修、教職経験者研修を含む。）の推進を図る。

イ 訪問日時・学校

- ① 令和6年6月6日（木） 東郷小学校  
 ② 令和6年6月17日（月） 諸輪小学校  
 ③ 令和6年9月26日（木） 音貝小学校  
 ④ 令和6年11月11日（月） 兵庫小学校

ウ 内 容

学校概要説明（学校経営説明）、授業参観

エ 各学校の研究テーマ

| 学 校 名 | 研 究 テ ー マ   |
|-------|---|
| 東郷小学校 | 学びあいを通して、主体的な学びを深める授業づくり                              |
| 諸輪小学校 | 対話を繰り返す中で、多角的に考えようとする児童の育成—ペアやグループでの多様な話し合い活動を通して—    |
| 音貝小学校 | わかる、楽しい、もっとやってみたいを引き出す授業を目指して～子どもが自走し、教師が伴走する協働学習の実践～ |
| 兵庫小学校 | 主体的に学び合える児童の育成—「学級全員」が参加できる授業づくりを通して—                 |

(2) 学校経営説明会

- ア 令和6年6月25日（火） 春木中学校  
 イ 令和6年6月27日（木） 春木台小学校  
 ウ 令和6年6月27日（木） 諸輪中学校  
 エ 令和6年6月29日（木） 兵庫小学校

4 成果・課題等

令和6年度の教育委員会の活動は、概ね当初の予定どおり実施することができたが、今後も教育委員会活動の充実を目指し、見直しや工夫を継続していく必要がある。

(1) 情報発信

町ホームページで、教育委員会関係の情報発信した。

(2) 教育委員会会議

議案の内容がわかりやすい会議資料を作成するとともに、簡潔説明に努め、スムーズに会議を進めることができた。

(3) 学校訪問・行政視察

東郷小学校、諸輪小学校、音貝小学校、兵庫小学校の4校を学校訪問し、学校の経営方針、施設、教育環境、授業等について、学校が抱えている課題や実情を把握することができた。学校訪問を実施しなかった学校においては、学校経営説明会を実施し、学校訪問又は学校経営説明会のどちらかで全小中学校を訪問し、学校の現状を確認した。

## VIII 教育委員会評価委員の意見

令和6年度に東郷町教育委員会が実施した事務及び東郷町教育委員会の活動について、教育委員会評価委員2名から意見をいただきました。

東郷町教育委員会評価委員 杉浦 慶一郎

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和6年度）」（以下「報告書」という。）を拝読いたしますと、東郷町の教育が着実に実施され、充実した成果をあげていることが確認できます。

令和6年度は前年度まで数年にわたり続いた新型コロナウイルス感染症の影響が緩和して、社会生活が落ち着きを取り戻したように感じられる一年でした。学校教育においては、新型コロナウイルス感染症の流行前の状況に戻ったということではなく、コロナ禍を踏まえて前倒しで実施された GIGA スクール構想による一人1台端末の配備を踏まえた新たなスタイルの学び方が浸透して、各学校で授業の工夫改善が積極的に行われた一年でした。

そのような状況の中、東郷町においては子どもたちの「生きる力」の育成のために、教育環境の改善に取り組まれており、特に令和6年度から小学校1学年から3学年までの30人学級を町独自で実施する施策を進められていることは、子どもたちに良い効果を生む特筆すべき成果だと思います。今後、第3学年までの30人学級が完成した暁には、小学校全学年での30人学級を目指されることを期待します。

近年、コロナ禍もあるのでしょうか、子どもたちを取り巻く社会の状況が不安定さを増し、それと呼応するように子どもたちの心理状況も不安定さを増しているように思います。学校に登校できない子ども、登校しても教室に入れない子ども、教室にはいるが学習以外の課題を抱えて苦悩している子どもなど、学校教育、教科学習を受ける前提が整わない子どもたちがいます。そして、そのような子どもたちへの配慮を進めることの必要性が、社会全体で次第に共有されてきているようにも感じます。

東郷町では、不登校や不登校傾向にある子どもに対応するために、教育支援センター「ハートフル東郷」を愛知池運動公園に設け、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行っていますが、さらに、学校に登校はできるが教室に入れない子のための校内支援センターの設置に向けた検討を始められていることが報告書に記載されていました。また、別室登校指導員を教育職の任期付職員として採用するため条例を策定したともありました。これらは従来の取り組みをさらに充実させる改善であり、着実な進捗を望みたいと思います。その際、障害のある子どもには、一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、個別の支援計画が作られ、教育的支援が行われますが、それと同様に、不登校や不登校傾向にある子ども等にも個別の支援計画が大切になってくると思います。新しい取り組みがより効果的なものとなるよう現場に即した配慮をお願いしたいと思います。

教室にはいるが課題を抱えて苦悩している子どもへの対応について、東郷町では、県からの配置によるスクールカウンセラー制度を有効に活用するとともに、町独自に心の教室相談員を11名配置して気軽に相談できる体制を整備していることも報告されていました。さらに、不登校傾向又は軽度発達障害等で授業に参加できない子どもやその他の教育活動に支援

を必要としている子どもに対して、スクールサポーターとして将来教職に就きたいと考えている大学生を配置する事業も実施していますが、このスクールサポーターが校外学習等へ随行する際の宿泊費や費用弁償を町が負担するよう制度を整えたとの記載もありました。これも従来の施策をさらに効果的なものとするにはどのようなことが必要なのか、実情を把握した上での適切な改善であると感じました。

子どもやその保護者が抱えている困難が学校だけでは対応しがたい場合に頼りになるのが専門家であり、このところスクールソーシャルワーカーに注目が集まっています。この職種も社会的な周知、学校での活用が進んできており、東郷町でもすでに3名が配置されていますが、東郷町では令和6年度にこれをさらに一步進めて、スクールソーシャルワーカースーパーバイザーを1名配置したとの報告がありました。これも現状の取り組みをさらに進化させる取り組みであると感じました。東郷町ではスクールロイヤーも配置されています。これら一連の施策はどれも子どもたちに寄り添う事業であり、今後とも事業がさらに効果的なものとなるよう工夫・改善を行い充実に努めていただきたいと思います。

子どもたちを家庭、地域、学校が共同して育てるという理念は今後一層大切になってくると思います。それを実現するための施策が小学校区での学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）であり、中学校区での生徒指導推進協議会だと思います。東郷町では全小学校区での学校運営協議会が設置されたと報告されていますので、生徒指導推進協議会とともに協議会内での連絡相談を密にして今後の活動の充実に期待したいと思います。

日本全国で公共建築物の改修が課題となっています。特に学校の施設は戦後子どもの数の増加に対応するために同時期に作られたものも多く、改修の時期も同時期となることが多い状況です。東郷町の学校施設改修については毎年関心をもって報告書を拝見していますが、諸輪小学校南校舎の長寿命化改修工事や大規模改造工事が着実に実施されたことが確認でき、安心しました。トイレの洋式化も着実に進めていただいています。建築資材価格等の高騰などもあり財政的な負担は大きい事業ですが、平成30年3月に策定された東郷町学校施設長寿命化計画に従い、安全・安心で快適な教育環境実現のために今後とも計画的な改修・改造をお願いしたいと思います。

また、報告書には「屋内運動場空調設置工事設計業務（東郷小学校他5）始め34件」との記載がありました。日本全国で猛暑が毎年話題となっています。令和6年9月時点で、全国の公立小中学校における体育館等の空調設置率は18.9%であり、国は設置率を加速するために、令和6年度補正予算において、避難所となる全国の学校体育館等への空調整備の加速化に必要な経費を計上し、新たな臨時特例交付金を創設しました。東郷町の空調設置業務については国の動きに対応したものと思います。学校の状況を踏まえた、先を読んだ対応を評価したいと思います。

生涯学習関連では、新たに家族体力つくりの日について、SNS、チラシの配布による周知を行い、コロナ禍以前の参加者数に戻ったことが報告されていました。また、町民レガッタ、各種スポーツ教室、各種教室、公民館文化ふれあい事業、音楽祭開催事業、町民会館文化ふれあい事業など各種の催しも活発に実施されていることが報告書にありました。これらの催しについて、要項などがホームページ等で確認することができるようになっているものも多いのですが、新たに参加してみたいと思う人を増やす仕掛けが不足しているようにも感じま



した。特にスポーツ系の種目については、聞き慣れない種目についてはスポーツの内容が分からないと、参加したいという意欲がわきにくいのではないかと思います。例えば、家族体力つくりの日に各小学校で行われる内容についてホームページを拝見したところ、タスポニー、ティーボール、ファミリーバドミントン、ドッジビー、夢ボール、ラダーゲッターなど私だけなのかもしれませんが、聞き慣れないスポーツが多い状況でしたが、ホームページに各スポーツの内容紹介はありませんでした。ホームページに活動の紹介画像や動画へのリンク（できれば QR コード）があれば、楽しそうな活動の様子を見て興味を持ち、参加者がさらに増えるのではないかと感じました。同様なことは、郷土資料館の資料の検索性、見える化についても同様だと思います。現在は多くの方がスマートフォンやパソコンで情報収集をする時代です。公共団体からの情報発信は、情報の正確さや情報量の点から文字情報が多くなりがちですが、情報を発信する側の視点ではなく、情報を受信する側に配慮した情報提供が大切だと思います。このことへの対応が公共団体では遅れているようにも感じます。委託事業化して実施している事業も多いと思います。すでに行っていることかもしれませんが、委託事業者とともに、閲覧者や参加者を増やす取り組みについて協議していくことも大切であると思います。

教育員会が行う事業の中で給食事業については、子どもたちの食育に直接関わる事業として大切なものだと思っています。報告書からは魅力的な給食となるよう様々な工夫を凝らしていることが確認できました。光熱水費及び諸物価の高騰の中での運営には苦労が多いと思いますが、食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」の実施回数を維持したことが報告されていました。また、地産地消の推進のために東郷町産の農産物の給食食材の活用拡大に向け、JAあいち尾東、生産者等と連携協力したことも記されていて、給食を通じて子どもたちに東郷町を愛する気持ちの醸成につながっていくものと感じました。給食センターが平成4年度の開館から30年以上を経過して、修理や交換が必要な設備及び備品が多数ある状況であることも報告されています。センターの機能が止まり、給食が途絶えたときには大きな混乱が生じます。東郷町学校施設長寿化計画によれば給食センターの優先順位は高いわけではありませんが、安心・安全な給食が安定して提供できるよう適時適切な対応をお願いしたいと思います。

令和6年度は、令和3年3月に改訂された第2次東郷町教育大綱の計画期間である令和3年度から令和12年度までの4年目であり、令和7年度末は折り返し点になります。計画期間後半に向けて教育大綱に示された目標が達成できるよう、各方策について達成状況を確認して、必要ならば方策の改善を行うことが必要です。報告書の成果指標の状況と教育大綱に示す目標の達成状況が直接対応するわけではないとは思いますが、成果指標の状況は大切な指標だと思います。今後とも各目標値が達成できるよう継続的な改善をお願いしたいと思います。

東郷町教育委員会評価委員      柘植 まゆみ

## 1 学校教育課

小学校1～3年生の30人学級が開始されたとのことでした。30人学級が行われることで、児童一人ひとりに対する教師の指導が行き届く環境となり、教育の質向上に大きく寄与する

と考えられます。この取り組みにより、子どもたちが個々のペースで学びを深めることができ、学習意欲を高める効果が期待されます。さらに、先生方にとっても児童の理解度や進捗を把握しやすくなり、より効果的な教育指導ができるのではないのでしょうか。

学校運営協議会の設置は、地域と学校の連携を深め、地域全体で子どもたちの教育を支える体制を築く重要な取り組みです。東郷町では令和6年度にすべての小学校区で立ち上がったとのことですので、地域住民の意見を反映しながら、学校運営に新たな視点を取り入れることで、より地域に根ざした教育の実現を期待します。

また、コロナ禍を経て、不登校や様々な事情によって学校に行きづらくなってしまう児童・生徒の数が増えていることは、新聞や報道で目にするところです。令和6年度は中学校の校内教育支援センター設置の検討をされたとのこと、別室登校指導員の採用を含め、教育現場の多様なニーズに対応するための準備が進んでいると感じました。校内教育支援センターが導入されれば、個別の支援が必要な生徒に対して、より適切な教育環境を提供することが可能となり、全ての生徒が安心して学べる学校に近づくのではないかと思います。

諸輪小学校南校舎の長寿命化工事や屋内運動場空調設置工事、飛散防止フィルム設置工事は、安全で快適な学習環境を提供するための基盤整備として高く評価できると考えます。これらのインフラ整備は、子どもたちの健康と安全を守るだけでなく、教育活動の質を高めるための重要な要素です。町内には古い校舎がまだあることから、引き続き計画的な改修をお願いします。

## 2 生涯学習課

家族体力づくりの日の周知活動は、地域住民の健康増進に寄与し、コミュニティの一体感を高めるイベントとして成功を収めています。SNSやチラシを活用した効果的な広報活動により、参加者数がコロナ禍以前の水準に戻ったとのことですので、地域の健康意識の向上のためにも引き続き広報活動を行っていただければと思います。

また、総合体育館管理事業アリーナ天井工事は、安全性と快適性を向上させ、住民の利用促進に繋がる重要な工事です。完了した際には、地域住民が安心して施設を利用できる環境が整い、スポーツやレクリエーション活動の活性化が期待できると思います。

総合体育館や町民会館の老朽化に伴う改修は、今後の利用促進のためにも維持管理が行われることが重要だと考えます。地域の文化・スポーツ活動の拠点としての機能を果たすためにも適切な時期での改修をお願いします。

ボートの普及啓発は、東郷町ならではの特色を活かした活動として期待しています。愛知池という自然資源を活用したボートの普及は、町の魅力を高めるとともに、観光振興にも繋がる可能性があると考えます。

## 3 給食センター

「にこにこ給食」の実施回数の維持は、物価高騰の中でも子どもたちに安定した食事を提供するための努力が感じられます。給食は、栄養バランスの取れた食事を通じて、子どもた

ちの健康を支える重要な取り組みであることから、引き続き実施していただきたい。

東郷町産農産物の活用拡大は、経済の活性化と食育の推進に貢献しているだけでなく、地元の新鮮な食材を給食に取り入れることで、子どもたちが食への関心を高め、東郷町の農業を支える意識を育むきっかけになるように感じます。今後も子どもたちへ安全で美味しい給食を提供してほしいと思います。